

部局名	都市整備部	所属名	都市計画課	所属長名	藤代 重幸	電 話	483-1151 内線3510
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード		4054		事務事業名称		公共交通対策事業					短縮コード		経常	4054	臨時	4055	
予算区分		会計	01	一般会計		款	08	土木費		項	04	都市計画費		目	01	都市計画総務費	
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市交通問題協議会設置条例 八千代市バス体系検討委員会設置要領 八千代市バス運行対策費補助金交付要領 八千代市鉄道駅エレベーター等整備事業費補助金交付要綱									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																	
市民の広域的な活動を円滑にする移動環境を形成していくため、鉄道、バスなどの機能連携を図り、公共交通の整備を推進する。 「八千代市交通問題協議会」は昭和46年に、本市の交通問題に関する調査、研究及びその対策について協議することを目的に設置。 「八千代市バス体系検討委員会」は平成8年、東葉高速鉄道の開通に伴って市内のバス体系が見直されたことを契機に、バス交通に関する調査・研究及びその改善を図ることを目的に設置。 「八千代市バス運行対策費補助金」については、平成14年2月に道路運送法が改正され、乗合（路線）バス事業の需給調整規制が撤廃されたことから、平成14年度より実施。																	
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の 施策体系	5本の柱（章）		04	快適生活空間都市をめざして							
不採算路線の存否に関する検討が進み、バス事業者から退出の意向が示される案件が減少してきたが、今後も休・廃止を含め、バス路線の再編が進むことが予想され、自治体の交通政策のビジョンの明確化が求められている。また、公共施設循環バスのコミュニティバス化への検討に伴い、路線維持に係る補助制度の廃止が考えられる。							大項目（節）		01	交通							
							中 項 目		01	総合交通							
									02	公共交通							
							小項目（施策）		01	総合交通機能の形成							
									02	バス輸送の充実							
							細 項 目		01	バス路線網等の整備・充実の要請							
実施計画の 計画事業		4101	鉄道駅エレベーター整備助成事業														
		4103	ノンステップバス整備助成事業														
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		昭和46年10月 ～				計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	①市内公共交通機関に関する諸問題 ②バス交通に関する諸問題 ③バス事業者から休・廃止の申出があった市内バス路線						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 八千代市地域公共交通会議の開催（公共施設循環バスの見直し） ノンステップバスを整備した事業者に補助金を交付した。（1台） 路線バス乗車場用地として勝田台駅北口広場隣接の用地を借り上げた。						
	※平成21年度に計画していること： 八千代市地域公共交通会議の開催（公共施設循環バスの見直し方針を決定する） 路線バス乗車場用地として勝田台駅北口広場隣接の用地を借り上げる。						
意図 （何を狙っているのか）	市内公共交通機関に関する諸問題を改善または、解決する。 市内を運行する路線バスや公共施設循環バスに関する諸問題を改善する。 生活交通路線を維持する。						
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外						
区 分			単位	1 9 年 度	2 0 年 度		2 1 年 度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	協議会で検討した諸問題の数	件	0	1	0	0
	指標 2	検討会で検討した諸問題の数	件	0	2	1	1
	指標 3	休・廃止の申出系統数	系統	0	0	0	0
活動指標	指標 1	協議会の開催回数	回	0	1	0	0
	指標 2	検討会の開催回数	回	0	3	2	3
	指標 3	補助金額	千円	0	0	0	0
成果指標	指標 1	協議会で結論を出した諸問題の数	件	0	1	0	0
	指標 2	検討会で結論を出した諸問題の数	件	0	2	0	1
	指標 3	補助対象路線沿線におけるバスが便利だと感じている住民の	%				
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	4054	事務事業名称	公共交通対策事業				所属名	都市計画課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			交通問題協議会，地域公共交通会議の組織見直しの検討			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止(事業完了含む)								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			交通問題協議会，地域公共交通会議の組織見直し検討を行う。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
交通不便地域の住民からのバス路線の充実や、公共施設循環バスのコース変更、増便などが求められている。 休・廃止路線への行政としての交通利便策を講じてほしいとの意見が出ている。 勝田台駅北口用地借地料については、引き続き借地という方法ではなく、勝田台駅北口広場としての整備を考えるべきであるとの指摘がでた。（２０年度定期監査）									

所属長コメント	公共交通については，交通ネットワークの形成等利便性の向上のため，今後も効率化を図っていく。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，課題なく推進可能なことは順次推進すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止(事業完了含む)									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									